

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 05 市民スポーツ活動の充実

主管課 生涯学習課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化と高齢化の進展 ・競技スポーツ種目・活動形態の多様化 ・健康づくり、体力づくりとしてのスポーツ活動の普及 ・任意スポーツクラブへの加入者の増加 ・生涯スポーツに親しむ人の増加 ・体育施設・備品の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢を問わずだれもがスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康づくり、体力づくりに寄与する。 ・スポーツ種目と活動形態の多様化に対応できる環境を整備する。 ・スポーツ活動を行う市民を増やす。 ・体育施設・備品の計画的な修繕を行う。 ・体育施設配置の方向性を定める。

施策の目的

スポーツ活動の場や機会を充実させ、市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活が営めることを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、体育施設（市内大学の体育館を含む）

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより心身ともに健康な生活を営むことができるようにする。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民割合	%	32.8	30.6	-	29.8	↗

施策の達成状況 (23年度)

成果指標である「週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民割合」は、全市的に実施されるアンケート調査によって把握する。平成21年度に比べ平成23年度では、この指標が下がっている。少子化や高齢化により、愛好者が減少している種目もみられるが、新しいスポーツも生まれており、各屋内・屋外体育施設を整備することによって、市民がスポーツ活動を行う場を提供するとともに、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室や健康指導相談事業を展開し、市民がスポーツに親しむ機会が増えるよう努めている。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	275,531	283,651	282,246
事業費(千円)	257,396	265,590	264,037
人件費(千円)	18,135	18,061	18,209

01 スポーツ・レクリエーション施設の充実

基本事業の目的

各種運動施設の整備とともに、市内大学との連携により、大学体育館の活用を図るなど、市民がスポーツ・レクリエーション活動を充分に行えるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、体育施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

スポーツ・レクリエーション活動の場がある。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
スポーツ施設利用者数(市内大学の体育館利用者を含む)	人	873,841	883,511	851,048	856,732	960,000
スポーツ施設整備の満足度	%	66.2	68.3	-	71.5	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

スポーツ施設利用者数が前年度に比べわずかに増加している。もう一つの成果指標のスポーツ施設整備満足度も、前回に比べ上昇しており、このことは屋内・屋外の各体育施設を適切に維持管理し、市民にスポーツ活動の場を提供したほか、学校体育施設についても、一定条件の下、スポーツ・レクリエーション団体に活動場所として提供するなど、体育施設の充実に努めた結果である。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	29,313	35,153	34,422
事業費(千円)	22,865	29,133	28,352
人件費(千円)	6,448	6,020	6,070

02 スポーツ・レクリエーション機会の充実

基本事業の目的

スポーツ団体の育成や地域での活動を推進することによって、誰もが自分にあったスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

誰もが自分にあったスポーツ・レクリエーション活動の参加機会がある。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
スポーツ・レクリエーション講座の充足度	講座・大会	44	57	54	53	45
スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	71.9	72.4	-	74.3	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

成果指標の「スポーツ機会が充足していると思う市民割合」は、平成21年度に比べ上昇している。子どもから高齢者までの幅広い年代層を対象とし、健康や体力づくりの維持・増進を主眼とした各種スポーツ教室のほか、健康体力づくり指導相談、気軽に市民のだれもが参加でき、楽しむことのできるスポーツ大会の開催、軽スポーツの出前事業などを展開しており、市民がスポーツに触れ、親しみ、その活動が習慣化するように努めている。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	237,528	239,437	239,369
事業費(千円)	229,065	230,207	230,062
人件費(千円)	8,463	9,230	9,307